

朝霞市行政改革推進実施計画

【令和3年度版】

令和4年2月

朝霞市

行政改革の柱と主な取組

(1) 集中的に実施する取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 デジタル化の推進	1 行政手続きの電子化	1
	2 ICTの導入による事務の効率化	2
2 予算編成事務の見直し	1 予算編成事務の見直し	3
3 公共施設等の計画的な管理・運営	1 公共施設等の計画的な管理・運営	4

(2) 定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組

取組名	実施項目	シート 番号
1 財源の確保	1 使用料・手数料の適正化	5
	2 多様な財源の創出・確保	
	3 補助事業の見直し	
2 市民との協働の推進	1 市民との協働の推進	6
3 業務委託等の活用	1 業務委託の活用	7
	2 指定管理者制度の検証	
4 機能的な組織づくり	1 組織機構の見直し	8
	2 審議会の見直し	

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	1	分類	集中的に実施する取組								
取組名	デジタル化の推進	実施項目	行政手続きの電子化								
推進課	財産管理課、収納課、出納室										
目的	来庁することなく申請・手続きができる手段を提供することにより、市民の利便性の向上を図るほか、接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の感染リスクを低減する。										
取組内容	<p>①電子申請の拡充 各課における行政手続きの電子申請(オンライン申請)の拡充を図る。</p> <p>②キャッシュレス決済への対応 窓口での使用料や手数料などの支払にキャッシュレス決済を導入する。</p>										
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を問わず行政手続きが行えることにより、市民の利便性が向上する。 ・現金の収受を省いた迅速な決済が行えることにより、手続きに要する時間が削減され、市民の負担が軽減される。 ・接触機会を減らすことにより、感染症の感染リスクを低減する。 										
1. 実施スケジュール											
取組内容	令和3年度		令和4年度				令和5年度				
	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①電子申請の拡充	検討	→	関係課と拡充検討・予算化				→				導入・検証
②キャッシュレス決済への対応	検討	→	関係課と拡充検討・予算化				→				導入・検証
2. 関連する指標・数値等											
<p>①電子申請が可能となった事業数</p> <p>②キャッシュレス決済を導入した事業数</p>											
3. 実績											
4. 今後の方向性											

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	2	分類	集中的に実施する取組						
取組名	デジタル化の推進	実施項目	ICTの導入による事務の効率化						
推進課	財産管理課								
目的	デジタルツールを導入、活用することにより、業務の効率化を図る。								
取組内容	<p>①定型的な業務にICT導入 AI^{※1}やRPA^{※2}、電子決裁、GIS(地理情報システム)などデジタルツールの導入を検討する。また、音声自動テキスト化システムを活用することにより、職員の事務効率化を図る。</p> <p>②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催 市民向け講座、会議等にWEB会議システムを活用する。</p> <p>※1 AI:Artificial Intelligenceの略称で、人工知能のこと。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理技術。</p> <p>※2 RPA:Robotics Process Automationの略称。ロボットによる業務自動化。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することを指す。</p>								
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の事務効率化を図ることにより、必要な業務に集中して取り組むことができる。 ・WEB会議システムを活用し、市民が参加しやすい環境を整えることにより、市民向け講座の開催形態の多様化や会議等を中止や延期することなく開催することができる。 								
1. 実施スケジュール									
取組内容	令和3年度		令和4年度				令和5年度		
	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
①定型的な業務にICT導入	導入・検証		導入後検証・他市事例研究・関係課との調整・予算化						
②WEB会議システムを活用した会議等(市主催)の開催	導入・検証		導入・検証				検証		
2. 関連する指標・数値等									
<p>①削減した事務処理時間数及び削減した紙の使用量</p> <p>②WEB会議システムを活用した会議等の数及び市民向け講座の開催回数</p>									
3. 実績									
4. 今後の方向性									

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	3	分類	集中的に実施する取組						
取組名	予算編成事務の見直し	実施項目	予算編成事務の見直し						
推進課	政策企画課、財政課								
目的	予算編成事務の見直しを行うことにより、市民が必要とするサービスが適切に提供できるよう、限られた財源の効果的な活用を図る。								
取組内容	枠配分方式の予算編成について検討し、より効果的な行政運営を行う。								
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・部毎に枠予算を配分することにより、必要な事業の精査やサービスの見直し、事業実施の可否など担当課において判断することが可能となり、実態に即した市民サービスの提供が可能となる。 ・常にコスト意識を持ちながら事業を実施することで職員の意識向上が見込まれる。 								
1. 実施スケジュール									
取組内容	令和3年度	令和4年度				令和5年度			
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
予算編成事務の見直し	導入・検証	見直し	実施	検証	見直し	実施	検証		
2. 関連する指標・数値等									
新たに実施した事業数及び金額									
3. 実績									
4. 今後の方向性									

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	4	分類	集中的に実施する取組						
取組名	公共施設等の計画的な管理・運営	実施項目	公共施設等の計画的な管理・運営						
推進課	政策企画課、財産管理課								
目的	市民が公共施設を将来にわたって安心して利用できるよう、計画的な維持管理を図る。								
取組内容	<p>①公共施設の維持管理費縮減 「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づき、維持管理費縮減について検討を行う。</p> <p>②公共施設(未利用地含む)の有効活用 公共施設(未利用地含む)を有効活用できるよう検討を進める。</p> <p>③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用 朝霞市公共施設マネジメント基金を設置し、公共施設の保全及び更新に必要な経費の財源を積み立て、今後の修繕費用に充てる。</p>								
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝霞市公共施設等マネジメント実施計画」に基づいた適切な維持管理の手法を実施することで、経費削減を図る。 ・公共施設(未利用地含む)を有効活用することで不動産貸付料の増収に繋げる。 ・「朝霞市公共施設マネジメント基金」を適切に運用することで、今後見込まれる多額の必要経費に備える。 								
1. 実施スケジュール									
取組内容	令和3年度		令和4年度				令和5年度		
	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
①公共施設の維持管理費縮減	検討・一部実施		実施・検証						
②公共施設(未利用地含む)の有効活用	検討・一部実施		実施・検証						
③「朝霞市公共施設マネジメント基金」の活用	条例制定		積立・運用		検証		積立・運用		検証
2. 関連する指標・数値等									
<p>①公共施設の維持管理費の縮減額</p> <p>②貸付による収入額</p> <p>③充当した事業数</p>									
3. 実績									
4. 今後の方向性									

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	5	分類	定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	財源の確保		
推進課	政策企画課、財政課		
目的	将来にわたり安定した財政運営を行うため、使用料等の適正化や多様な財源の創出などにより、財源確保を図る。		
実施項目	<p>①使用料・手数料の適正化 住民負担の公平性の確保と受益者負担の原則に基づき、使用料及び手数料の適正化を図る。</p> <p>②多様な財源の創出・確保 国や県の補助金を有効的に活用出来るよう、新規事業や部署を横断する事業等を実施する際には関係部署と連携を図る。あわせて、ふるさと納税の活性化、有料広告収入の拡大など新たな自主財源の創出・確保を目指す。</p> <p>③補助事業の見直し 他市の状況や市民ニーズを踏まえ、市単独の支援制度の必要性や適正水準を検討し、公平性の確保を図る。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	6	分類	定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	市民との協働の推進		
推進課	政策企画課、市政情報課、地域づくり支援課		
目的	市民と行政が連携し、より効果的に事業が行われるよう、市民参画の推進を図る。		
実施項目	<p>市民との協働の推進 市民参画を推進するための制度(公募委員、市政モニター制度など)が、より有効に機能するよう改善と拡充に取り組む。また、市民団体などと協働、連携した行政運営を図る。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	7	分類	定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	業務委託等の活用		
推進課	政策企画課		
目的	行政サービスを効果的かつ効率良く提供し、市民サービスを向上させるための業務委託について検討する。		
実施項目	<p>①業務委託の活用 業務委託に当たっては、必要性、効率性を精査し、質の高い行政サービスの提供が可能となる事業について、アウトソーシングを実施する。</p> <p>②指定管理者制度の検証 現在の指定管理者制度について検証し、より有効な施設の管理に向けて今後の在り方を検討する。</p>		
実績及び今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進実施計画 【令和3年度】

シート番号	8	分類	定期的な見直し、継続的な実施が求められる取組
取組名	機能的な組織づくり		
推進課	政策企画課		
目的	社会状況の変化に伴って多様化する行政需要に対し、機動的に対応するための組織づくりを図る。		
実施項目	①組織機構の見直し 多様化する行政需要に対応するため、組織機構の見直しを行う。 ②審議会の見直し 性質の似た附属機関が設置されないよう、審議会等の在り方を検討する。		
実績及び 今後の方向性 (年度末に記入)	実績		今後の方向性

朝霞市行政改革推進基本方針 実施計画
(令和4年2月発行)

発行 朝霞市
編集 政策企画課
〒351-8501
埼玉県朝霞市本町 1-1-1
電話 048-463-1111(代表)
URL <http://www.city.asaka.lg.jp/>